年間授業計画

高等学校 令和６度（２学年用） 教科　　芸術　　科目 美術Ⅱ

教　科： 芸術　　科　目： 美術Ⅱ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組 美術選択者

教科担当者： 五郎丸　隆子

使用教科書：（ 光村図書　美術２　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】1年次に修得した芸術表現の方法・可能性・歴史等についてさらに学び技術の向上と広く芸術を愛好する心情を育成する

【思考力、判断力、表現力等】さらなる芸術表現の可能性について考え、自らの表現に適した方法を判断し、手段を選択することができる

【学びに向かう力、人間性等】他者の制作した芸術作品から主体的に感じ取ったことや考えたことを基にして学習活動に積極的に取り組むこと

科目　美術Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
美術Ⅰに引き続き、表現の方法、多様性などについて幅広く理解するとともに、技術知識の向上を図り、効果的に表現するための知識・能力を身に付け、さらなる表現について模索するようにする。	自他の作品の良さや美しさを感受し、意図に基づいて創作活動に励み、表現を工夫する。自分なりの表現について模索し、様々な表現方法の中から自分に合った方法を見出し表現を楽しむことができるようにする。	主体的に幅広い表現活動に励み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高める。周囲の生徒との活動の中で互いの表現の良いとことを享受し、高めあう活動を目指す。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	鉛筆デッサン 【知識及び技能】 構図どり、形をとる(パース)、陰影表現の方法等について学習し、デッサンの基礎について復習し、今回の課題内について説明する。１年の静物デッサンで学んだ内容を生かし、さらに質感の違うモチーフを増やすことで、デッサン力の向上を目指す。 【思考力、判断力、表現力等】 質感、質量、形状、色彩の異なるものを組み合わせて描く。構図どり、空間の切り取り方、それぞれのものの質感の違いを意識し、描き分けるようを指導する。 【学びに向かう力、人間性等】 完成に向け細部の描写について描くことができているか。客観的な視点から自身の作品について観ることを教え、仕上げの方法について指導する。他者の作品を観ることで多様な表現方法について学ばせる。	・構図どり(エスキース) ・形をとる(パース) ・陰影表現の方法 ・デッサンの基礎についての復習 ・静物デッサンの基本 ・教科書、スケッチブック、デスケル、鉛筆、練ゴム　等	○			○	【知識及び技能】デッサンの基本について思い出し、それを発展させて、さらに自身の描き方を見つけ作品作りに反映させることができる　【思考力、判断力、表現力等】立体を描くことについて鉛筆の濃さの使い分け等について自身で判断し表現を楽しむことができる 【学びに向かう力、人間性等】周囲の生徒の制作を見て、お互いの作品よいところを見つけ、技術を高めあうことができる	○	○	○	18
	平面構成 【知識及び技能】 アクリル絵の具の特性や用途、使用方法についての注意点を復習。色彩の基本についての復習とトーン分類や配色について新たに学ばせ理解さ画面の構成と色彩の構成に幅を持たせる。 【思考力、判断力、表現力等】 与えらた構成要素を用いて選択した言葉についての画面を構成させる。筆や道具を使い、美しい画面の作り方を模索するよう指導。色のかさねについて工夫を凝らし、画面にメリハリをつけて構成するよう指導する。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の作品を鑑賞することで、様々な表現方法について学ばせる。	・混色と配色 ・アクリル絵の具を使っての美しい色面着彩の技術 ・抽象的な言葉を構成要素と色彩を使い表現する技術 ・トーン分類と配色について ・教科書、スケッチブック、アクリル絵具セット、鉛筆、練ゴム、ケント紙、マスキングテープ　等		○		○	【知識及び技能】アクリル絵の具の取り扱い方について理解し、正しく使用し、美しい画面を制作することができる 【思考力、判断力、表現力等】混色方法について学び、自分の意図する色を作り、表現することができる。与えられた条件を駆使し選択した言葉にぴったりな画面を創意工夫ができる　【学びに向かう力、人間性等】自らの作りたい色について積極的・主体的に試行錯誤を繰り返すことができる。他者の作品を鑑賞し、その良さを見つけ自分の今後の作品に生かすことができる	○	○	○	20
2学期	木炭デッサン 【知識及び技能】 木炭の使用方法について説明し、鉛筆とは違う使い方を理解させる。構図の取り方や、面での捉え方について説明し、実際の立体をよく観察しながら描くよう指導する。 【思考力、判断力、表現力等】 明暗の調子を様々な道具を使うことで多様に作り出すことを自ら追求できるよう指導する。 【学びに向かう力、人間性等】 輪郭の描き方や作品全体の調子の整え方など、細部の描写についての技術指導を行う。他者の作品を鑑賞することで自身の表現の幅を広げる指導を行う。	・教科書、木炭、木炭紙、デスケル、練ゴム　等	○			○	【知識及び技能】木炭デッサンの基本について理解し作品作りに反映させることができる 【思考力、判断力、表現力等】立体を描くことについて画材の使い分け等について自身で判断し表現を楽しむことができる 【学びに向かう力、人間性等】周囲の生徒の制作を見て、お互いの作品よいところを見つけ、技術を高めあうことができる	○	○	○	8
	木彫 【知識及び技能】 彫刻の歴史、作業の一連の流れを理解させたうえで、彫刻刀の使い方について理解させ、オリジナリティーにあふれたデザイン考案を促す。線彫り方法やレリーフの基本について学ばせ、表現したいものがより魅力的に彫刻できる方法を模索するよう指導する。 【思考力、判断力、表現力等】 混色や色のかさねについて工夫を凝らし、画面にメリハリをつけて構成するよう指導する。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の作品を鑑賞することで、自身の表現の幅を広げる機会を与える。	・魅力的なデザインの考案 ・木彫レリーフについて ・彫刻刀の使い方の基本 ・素材について ・教科書、スケッチブック、鉛筆、練ゴム、マスキングテープ、彫刻刀、手板、木彫小箱　等	○	○		○	【知識及び技能】木彫レリーフの技法について学び、その方法について正しく理解し作品作りに取り組むことができる 【思考力、判断力、表現力等】デザインについて自己の表現についての模索と創意工夫ができている 【学びに向かう力、人間性等】主体的に感じ取ったことや考えたことを基にした制作活動に取り組もうとしている	○	○	○	12
3学期	木彫 【知識及び技能】 彫刻の歴史、作業の一連の流れを理解させたうえで、彫刻刀の使い方について理解させ、オリジナリティーにあふれたデザイン考案を促す。線彫り方法やレリーフの基本について学ばせ、表現したいものがより魅力的に彫刻できる方法を模索するよう指導する。 【思考力、判断力、表現力等】 混色や色のかさねについて工夫を凝らし、画面にメリハリをつけて構成するよう指導する。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の作品を鑑賞することで、自身の表現の幅を広げる機会を与える。	・仕上げ剤(ニス塗)についての説明 ・仕上げの色の選択 ・塗りの丁寧さなど最後まで美しい表現で仕上げるように指導 ・教科書、スケッチブック、鉛筆、練ゴム、マスキングテープ、彫刻刀、手板、木彫小箱　等	○	○		○	【知識及び技能】やすりがけや仕上げの方法について学び、正しく理解し作品のし、上げ作業にに取り組むことができる 【思考力、判断力、表現力等】彫刻刀を駆使し、自己の表現についての模索と創意工夫ができている 【学びに向かう力、人間性等】主体的に感じ取ったことや考えたことを基にした制作活動に取り組もうとしている	○	○	○	12
											合計 70